

オーストラリアに遺愛生 2 名が 短期留学しました。



7月10日（土）に遺愛から2名の生徒（高2英語科の丸山柚衣さんと高橋早紀さん）が10月までの3ヶ月の予定で、オーストラリアのレイクマコーリー（函館の姉妹都市）に向けて出発しました。2人は積極的に友達をつくり、オーストラリアの文化を学んできたいと抱負をのべていました。財団法人相馬報恩会（相馬謙吉理事長）が費用を全額負担して、毎年函館から10名の生徒を留学させて下さる奨学制度により2人は行くことができました。本当に感謝です。相馬報恩会のこの留学制度は、函館市教育委員会と共催で今年で5回目、市内の他の高校同様、遺愛も毎年お世話になっています。

昨年遺愛から留学した吉田美乃莉さんは、高3になった今年の5月に社会人や大学生に混じってTOEICテストにチャレンジし、見事スコア900点（990点満点）をとりました。これは本当に凄いことです。英検で言うと1級レベル。東大・京大の大学院に進学するのにスコア700点以上を求められますし、北海道教員採用試験で英語教員志望者は730点以上とっていると英語の試験が免除になるそうです。吉田さんはすでにそれらよりはるかに高いレベルに到達しています。彼女は帰国子女ではありません。遺愛女子中学・高校と英語を学び、自分で一生懸命取り組んだ成果です。今回のスコアについて吉田さんは相馬報恩会による3ヶ月の留学がとても強い刺激となり、さらなる勉強意欲につながったと語っています。

来年の留学にむけて、新しい選考に入りつつあるようです。ぜひ多くの1年生にチャレンジしてほしいなと願っています。

日本企業で社内の共通語を英語にすると宣言した企業が出てきました。この傾向は今後ますます強くなっていくと思います。

2010年7月15日（木）